

交渉結果報告書

市長公室 人事課

交渉内容 2014 夏季重点要求書の回答等について
交渉日時 平成26年6月18日(水) 15時00分～17時15分
交渉場所 602 会議室
交渉出席者 当局側 土屋副市長 宇野市長公室長 星川次長 秋元課長 岡部主幹
波戸瀬主幹兼人事研修係長 雲丹亀給与係長
組合側 小野執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計12人

| 概要 | 2014 夏季重点要求書の回答等に関する交渉を行った |
|-------|---|
| 組合の主張 | <p>給与制度の総合的見直しは、給料表の水準を特に高齢層で下げる方向にあり、地域手当においても支給地域の見直しや支給率を引き下げることが考えられる。宇治市として給与制度の総合的見直しについてはまずは反対する立場をとってほしい。職員からすると、退職手当の引き下げ、昨年の給与減額措置に引き続き、消費税が増税となっている中で、また下がるのかという思いがある。</p> <p>人事院勧告で給与制度の総合的見直しが出されたからと言って、すぐに宇治市でも実施するという事にはならない。府は実施が遅れたからと言ってペナルティは考えていないと言っている。前回の給与構造改革でも宇治市での実施は国よりも1年遅れとなり、府内他団体ではさらに遅かったところもあった。それだけ重い課題である。確定交渉に向けて、職員のやる気、感情などを含めて当局の姿勢を示すところである。良い人材の育成などと言いながら、賃金引き下げというのはやはり厳しいと考える。</p> <p>住居手当の提起とは何か。宇治市としての住居手当の考え方を当局が示して協議していくものと受け止めている。</p> <p>ガソリン価格は高止まりが続いており、通勤手当の単価が条例に規定してあるから見直さないというのではなく、実態に合わせた単価設定が必要である。以前に通勤手当を見直した際には、単価を毎年見直すのは大変だが、何年かの期間で考えるということだった。車の燃費が向上しているということもあるが、緊急の課題で対応すべき時期にきていると考える。通勤手当の条例への規定の仕方も議論が必要であると考えます。</p> <p>時間外勤務が全体的に多い状況にある。特に臨時福祉給付金の対応で特定の職員に集中している状況にある。想定していたことと状況が違うのではないかと。当該所属については、前回の交渉でも指摘したところである。</p> <p>早朝の時間外勤務について把握しているか。どうしても業務が発生し必要なのであれば、サービス残業にならないように、きちんとした対応をするべきである。また、所属長は自分の所属の早朝の状況がどうなっているのか、把握するべきである。</p> <p>節電の取り組みにおける証明スイッチのオンオフについては、統括推進員や所属長の意識の問題が大きい。節電責任者としての意識は持っているのか。とりわけ4階で課題と考えている。</p> |

| | |
|--------------|--|
| | <p>冬季に窓際の吹き出し口から温風が出るようになり、7～8月に向け暑くなる中で冷気が出るようになる。これからも対応をお願いしたい。</p> <p>女性職員の登用について、能力が発揮できるようにしようというのは良いが、目標値が先行して、女性というだけでやみくもに登用しようというのはあってはならない。</p> |
| <p>当局の主張</p> | <p>給与制度の総合的見直しについては、人事院勧告制度がある以上、十分に注視しなければならない。今の状況が生活実態に見合ったものかと言えば、必ずしもそうではないと思うが、市民の目は大変厳しいものがある。</p> <p>政府の賃金引き上げ要請に大手企業は答えられたが、市内事業所ではまだまだ厳しいところがあると思う。賃金は下げるががんばれと言うのはどうかと言われればその通りではある。賃金確定交渉で議論したい。</p> <p>2年前に提起しており、その時から継続している課題と考えている。その後の京都市等の状況の変化もあり、それらを踏まえて協議をしていきたいと考えている。</p> <p>平成18年度の平均ガソリン単価を根拠としているが、その時から高騰している一方で、車の燃費も向上している現状がある。ただ、海外情勢により原油価格は今後も上がる可能性があるが、他団体との均衡もあり、いろいろと研究したいと考えている。</p> <p>5月で90時間を超えている。当該所属長も同程度の時間外勤務で対応している状況にあり、特定職員ばかりに業務を振っているわけではないと認識しているが、係員のバックアップ体制を組んで何とかしている状況にある。今後の業務のピークを迎えるにあたってはベテラン職員OBを非常勤職員として任用する等の対応を行っているところである。</p> <p>4～5月に7：30頃から見回りをした。食事をしている職員やお茶の準備をしている職員がいることは把握している。業務をする場合は8：30以降にするよう声掛けをした。</p> <p>従来から節電の取り組みについては、特定職員に作業が偏らないように、また、統括推進員を中心に実施するよう周知してきたところであるが、徹底したい。</p> <p>-</p> <p>女性が活躍できる場を作っていく、その中で見極めながら登用することが重要で、こういう取り組みでは目標値の設定は必要だろうと思う。</p> |